



学校だより



青梅市立東小中学校
令和2年度 第10号
1月21日(木)

2021年(令和3年)開幕!

勇気と希望を胸に、困難を乗り越え、成長の年にしよう!

校長 川窪 公夫

年頭より1都3県に緊急事態宣言が出され、大変厳しい状況下でのスタートとなりましたが、今年も教職員一同、感謝の気持ちを忘れず、力を合わせて子ども達のために頑張りますので、よろしくお願いたします。

さて、お正月の恒例行事である大学対抗の箱根駅伝大会が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、沿道での応援は制限されましたが、その分、テレビを見た人も多く、視聴率は歴代最高を記録したそうです。最終区での大逆転など、今年も多くのドラマが生まれた大会となりました。

ひたむきに一生懸命に走る選手たちの姿から、本来、一人一人の胸中にある勇気と希望というかけがえのない力が湧(わ)き出てきたのではないのでしょうか。皆さんも26日の駅伝大会、走り終わった時に、「頑張ったな」と思えるよう、最後まで全力を尽くしましょう。

一昨年のNHK大河ドラマの主人公として取り上げられた箱根駅伝大会の生みの親と呼ばれている金栗四三(かなくり しそう)氏は、1912年のストックホルムオリンピックに初の日本人選手としてマラソンに出場しました。しかし、レース半ばで、日射病(にっしやびょう=強い直射日光により水分が失われる)により、気を失い棄権(きけん=途中で止める)となってしまいました。直後の日記には、「雨降って、地固まるの日を待つのみ。人笑えば笑え」と記しています。しかし、金栗氏はこの時、練習方法を立て直すことで、日本人が世界と渡り合えると確信していたそうです。負けた事実は消せなくても、その意味を変えることはできます。後に「日本マラソンの父」と呼ばれた金栗氏にとって、この悔しい経験こそが成功よりも価値ある宝になったのです。私たちが何かにチャレンジすれば、失敗することもあります。むしろ、上手いかないことの方が多いかもかもしれません。しかし、チャレンジの積み重ねが必ず成功につながります。今年も目標を目指して、コツコツと努力を続けましょう。

セーフティ教室 → 自分の身は自分で守る!

12月16日にセーフティ教室を行いました。今年も、新型コロナウイルス感染症対策のため、各教室での学習となりました。DVDでは、大麻などが10代・20代の若者へ広がっていることや一度手を出すと止められなくなる依存性が強いこと、そして、身体や心に与える害毒が紹介され、薬物乱用の怖さを知ることができました。また、誘われたときに、断る勇気を持つことの大切さを学びました。放送では、担当の相山先生から「だれもが一人で生きているのではなく大切に思われていることを心に留め、かけがえのない自分を大切にすることで犯罪から身を守ってほしい」との話のあと、まど・みちおさんの詩「ぼくがここに」を朗読してくれ、子ども達の心に命の大切さを訴えかけました。

〔裏面に詩を掲載しました〕



寮の手作り門松

ぼくが「ジュ」

まど・みちお

ぼくが「ジュ」いるとき

ほかのどんなものも

ぼくに かさなつて

「ジュ」いるとはできない

もしも ゾウが「ジュ」いるなら

ば

そのゾウだけ

ママがいるならば

その「ジュ」のママだけ

しか「ジュ」いるとはできない

ああ「のちぎゆう」の うえでは

こんな「だいじ」

まもられているのだ

どんなものが どんなところに

いるときにも

その「ジュ」が

なにも まつて

すばらしいと

<今回のセーフティ教室の子ども感想文を紹介します>

- 相山先生が言っていたのですが<中略>今ここまで生きて来られたのは、ここに来る前、ここまで育ててくれるほど愛した人が居たからです。という話をされました。<中略>だからこそ自分を大切にしようと思います。だから、自分の身は自分で守れるよう、もし、今日、見たり聞いたりした事が起きたら戦えるように強い自分になりたいです。【小学生】
- ビデオや相山先生の話聞いて「自分って大切なのかな?」と少し考え直すことができました。少しは、自分のことを好きになれました。もともと、薬物はいい物ではないという印象がありました。ビデオを見て細かく説明されるとあっ!ダメな物なんだと思いました。<中略>私は、薬物を使わない自信があります。【中学生】

子ども達の3学期の決意・目標の一部を抜粋(ばっすい=抜き出すこと)で紹介!

- 学校でも寮でも、「自分に厳しく、人に優しく」ということを頑張りたいです。そして、どんなに苦しいことがあったとしても気持ちを下げ過ぎずに前に進んでいきます。
- 返事を忘れず、忘れ物をしないために気を抜かないようにする。何かしてもらったら、感謝の言葉を伝えること。
- 挨拶、姿勢、言葉使い、人付き合いを上手にする。集中力を身に付けること。また、中3生を気持ち良く送り出したい。
- 緊張感のある生活をしたいです。そして、誉められる生活です。
- 寮では、駅伝練習を毎回、真剣に取り組んで優勝したいです。学校では、忘れ物をゼロにしたいです。通知表は、オール4以上取れるように頑張りたいです。
- 勉強の遅れを少しでも取り戻して、通知表で4を取れる様にしたいです。また、大人と少しでも本音で話せる様にするため、大人と話すくせを身に付けていきたいです。

<シリーズ クラブ紹介 番外編!?!>.....第7弾 わんぱくクラブ

中学校のクラブ紹介は前号で終了しましたが、今回は、小学校のわんぱくクラブの活動を紹介します。このクラブは、月に1回寮の先生方が運営するお楽しみ会的な企画です。1学期は、新型コロナの影響で行えませんでした。2学期は、キックベースやミニ運動会、クリスマス会準備を兼ねたレクなどで楽しみました。毎回、小学校の先生方もグループに分かれゲームに参加し、子ども達や寮の先生方と親睦(=しんぼく・したしくなること)を深めています。担当になった寮の先生方をはじめ、運営は大変だと思いますが、いつも子ども達が楽しく参加できるよう工夫されています。子ども達の心に楽しい思い出と共に協力することや思いやることの大切さを教えてくれる企画ばかりです。寮の先生方に感謝しています。今後の「わんぱくクラブ」も楽しみです。

